

市議会とあなたを結ぶ

かつらぎ 議会だより

No.6

2012年9月1日発行



総務文教常任委員会で
新庄幼稚園建替現場を視察



議員人権研修を開催



差別をなくす市民集会



けはや法要に参列



6月議会（6月18日～6月28日）議案の審査と結果

8人の議員が一般質問で市政を問う

付託議案等の審査 常任委員会、特別委員会で質疑

議会全員・各常任委員会視察研修を実施 全国市議会議長会から表彰

■発行 葛城市議会

■編集 議会だより編集委員会

〒639-2195奈良県葛城市柿本166番地 TEL.0745-69-3001

<http://www.city.katsuragi.nara.jp/>

議案審査

平成24年第2回定例会を6月18日から28日までの会期で開催しました。

本定例会では、平成24年度一般会計補正予算や条例の改正、工事請負契約の締結等の様々な議案を審議しました。また、会期外にも特別委員会等を開催して所管事項について審査しました。

議会審議日程

5月9日	議会改革特別委員会
15日	総務文教常任委員会
24日	総務文教常任委員会
31日	都市産業常任委員会
6月8日	議会運営委員会
8日	尺土駅前広場整備事業 特別委員会
14日	総務文教常任委員会
14日	行財政改革特別委員会
平成24年第2回定例議会	
18日	本会議（議案提案）
20日	本会議（一般質問）
21日	本会議（一般質問）
22日	総務文教常任委員会
25日	民生水道常任委員会
25日	新クリーンセンター 建設事業特別委員会
26日	都市産業常任委員会
28日	本会議（議案採決）

議案の主な内容と結果

人事案件

議第29号 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めるについて
全会一致により適任

藤田味子氏（新在家）

循環型社会形成推進事業、尺土駅前周辺整備事業、全国瞬時警報システム（J-ALEERT）整備事業、新施設計業務等の11事業について繰越額が決定し、平成23年度から平成24年度へ繰越したことの報告です。

専決処分案件

議第30号 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めるについて
全会一致により適任

椿本恵三氏（長尾）

承認第1号 専決処分の承認を求めるについて（葛城市税条例の一部を改正することについて）
全会一致により承認

地方税法等の改正に伴い、土地に係る固定資産税の負担調整措置の3年間延長、住宅用地の課税標準額の据置特例、特例民法法人から一般社団・財団法人に移行した法人が設置する図書館、博物館、幼稚園について固定資産税を非課税とする措置、

東日本大震災に係る被災居住用財産の敷地に係る譲渡期限を現行の3年から7年に延長する措置等の改正を行つたものです。

承認第3号 専決処分の承認を求めるについて（平成23年度葛城市一般会計補正予算（第6号）について）
全会一致により承認

介護保険システム改修事業及び地域循環型社会形成推進事業の2事業について、繰越明許費の追加及び繰越額の変更を行つたものです。

条例関係

議第31号 葛城市印鑑条例等の一部を改正することについて
可決

民生水道常任委員会に付託し、審査の後、本会議で全会一致により

報第4号 平成23年度葛城市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について
（報告のみ）

磐城第2保育所整備事業及び国鉄・坊城線整備事業における継続費について、平成23年度から平成24年度へ通次繰越したことの報告です。

承認第2号 専決処分の承認を求めるについて（葛城市国民健康保険税条例の一部を改正することについて）
全会一致により承認

住民基本台帳法の改正及び外国人登録法の廃止等に伴い、葛城市印鑑条例、葛城市手数料条例、葛城市福祉総合ステーション条例、葛城市農業者健康管理休養センター条例における外国人住民に関する規定等を整備するものです。

地方税法等の改正に伴い、東日本大震災に係る被災居住用財産の敷地に係る譲渡期限を現行の3年から7年に延長する措置が講じられたことにより、国民健康保険税の所得割額等の算定において適用するものであります。

6月議会の

改正する」と云つて 議第32号 葛城市税条例の一 部を

総務文教常任委員会に付託し、審査の後、本会議で全会一致により

可決

地方税法等の改正に伴い、個人住民税における年金所得者の申告手続の簡素化のため、寡婦（寡夫）控除の市町村への申告書提出を不要とするものです。また、下水道除害施設及び雨水貯留浸透施設の償却資産について、創設された地域決定型地方税制特例措置により、特例率を市町村の条例で定めるものです。

そ の 他

議第33号 奈良県後期高齢者医療広域連合規約の変更について

その他の

議第35号
工事請負契約の締結について（葛城市立磐城小学校屋内運動場地震補強・大規模改修工事）
総務文教常任委員会に付託し、審査の後、本会議で全会一致により可決

議第35号 工事請負契約の締結について（葛城市立磐城小学校屋内運動場地震補強・大規模改造工事）

葛城市立新庄小学校北中棟地震補強・大規模改造工事及び北棟大規模改造工事について、総合評価落札方式による一般競争入札を実施した結果、株式会社奥村組が落札し、契約金額1億7,076万7,800円で請負契約を締結しようとするものです。

総務文教常任委員会に付託し審査の後、本会議で全会一致により

係部分を分割付託し、審査の後
本会議で全会一致により可決

民生費では、いきいきセンターの畠表替えに係る修繕料、農林商工費では、市単独土地改良事業に係る工事請負費、鳥獣害防止対策協議会への負担金、消防費では、消防団員退職報償金等を追加し、また第2条では、地域循環型社会形成推進事業に係る継続費の補正を行うことにより、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1,656万7千円を追加するものです。

議第5号 葛城市用地取得事業 賛成案

にかかる分担金徴収条例の一部を

改正する」ということ

賃戸少數による販法

金徴収条例（平成23年葛城市条例第1号）について、第5条第2項のた
だし書の削除を求めるものです。

意見書

次の意見書を本会議で全会一致により可決し、内閣総理大臣他関係機関に送付いたしました。

■「防災・減災」ユーディールによる社会基盤再構築を求める意見書

議第34号 工事請負契約の締結について（葛城市立新庄小学校北中棟地震補強・大規模改造工事及び北棟大規模改造工事）

も住民基本台帳法の適用対象となるため、規約中の外国人登録原票の文言を削除するものです。

予算関係

議第36号 平成24年度葛城市一般会計補正予算（第1号）の議決に

つじか
三つの常任委員会及び新クリーン
センター建設事業特別委員会に關

議会を傍聴してみませんか

本会議は皆さんに公開されており、市民はもとよりすべての人が傍聴できます。市民から選ばれた市議会議員の議会活動や市政の方針などを知るよい機会ですから、ぜひお越しください。傍聴を希望される方は、本会議の当日、新庄庁舎5階の議会事務局で受付票に住所・氏名等を記入してください。（定員25名／先着順）

委員会の傍聴について

委員会の傍聴は、委員長の許可が必要となつてゐるため、当 日、委員会が始まる前に議会事務局に申し出でいただき、許可のあつた場合に傍聴できます。

※会議録や会議予定について

本会議の会議録や各委員会（平成24年3月定例会以降に開催した分）の会議録、今後の本会議・委員会の開催予定について、葛城市ホームページ内の「葛城市議会」のページからご覧いただけます。

一般質問



溝口 幸夫

市政運営の成果について

をさらに進めていきブランド化して行きたい。

市長選に臨み葛城市発展のビジョンについて



川西 茂一

防災・減災・避難所・学校等の対策について

を対象とし、家具4台まで器具で取り付け、費用負担は取り付け作業員一人当たり1時間100円である。

学校の耐震化について

問 4年前の市長選挙において、マニフェスト「明るい葛城市づくり5ヶ条」を評価表にして、成果と反省、継続性についてお聞きしたい。

答 「尺土駅前整備事業」は、地権者との交渉が約80%完了し、着工に向けて努力してきた。「行政サービスのバランス」については十分に行き届かない点、順次改善していく。情報公開」「ホームページの活用」については今後、事業の優先順位、予算編成の在り方についてもオープンにしていきたい。「外部監査制度の導入」は、今後の課題として取り組みたい。「総合病院（産婦人科含）誘致」は状況調査しながら、前進に向けて努力したい。「ウォーキング（健康推進）を楽しめる街づくり」については、「新道の駅」新設事業に合わせて山麓地域で検討したい。「當麻温泉再利用」については、着手せずに過ぎてきたが、今後検討していきたい。葛城市的ブランド化については、歴史・文化の活用や米粉や牛乳を利用した製品開発

業拠点を点で活用するのではなく、線で結んで波及効果・相乗効果を求める施策を展開しては。

答 質問のとおり事業拠点を市発展のため効果を上げるよう努力したい。

問 「新市建設計画」完遂後の財政の見とおし、および財政運営は。

答 市政運営のなかで、見とおしをつけ市民に公開しながら健全な財政運営をしていく。

問 一般的に「観光」「教育・子育て」「福祉」等あるが、葛城市的ブランド施策は。

答 「住みやすい」「住み続けたい」に考慮した施策を考えていきたい。

問 「住んでよかったです」といった生活環境に職員を出向かせ地域防災マップの作成にあたっている。

答 昨年より5ヶ大字増加し、現在は39ヶ大字となっています。各大字に職員を出向かせ地域防災マップの作成にあたっている。

問 防災士の資格取得について。

答 防災士資格者特例があり現在42名が資格取得者である。

問 被災者支援システムの進捗状況について。

答 運用使用方法が可能かについて現在検討中である。早期に活用出来るよう取組んでいきたい。

答 65歳以上一人暮らし、高齢世帯

度で100%になる。

答 非構造部材の点検について。

答 学校職員、先生方による目視での点検は常に実行している。専門家の点検も今後検討していきたい。

答 災害発生時の対応について。

答 本市の実態に即したものとなるマニュアル策定に努めると共に、保護者や生徒・児童への周知を目指して取組みを進めていきたい。

問 避難所について。

答 地域の避難所となる学校に非常用物資、水、自家発電装置等の設置をどうするか先進地にも学びつつ、関係課とも協議し検討する。

問 防災、減災の強化について。

今、公明党は「防災・減災対策の強化」を推進しています。防災DVDを作成して地域の方々に見て戴き、その折に「災害時あんしんシート」を渡し、いざと言う時の準備を訴えている。緊急時にも役に立つ。本市も作成して全市民の方々にお渡しすべきと思うが。

答 取り入れる方向で考えたい。

答 平成24年現在95.7%で、来年度で100%になる。

答 学校の耐震化について。

答 非構造部材の点検について。

答 学校職員、先生方による目視での点検は常に実行している。専門家の点検も今後検討していきたい。

答 災害発生時の対応について。

答 本市の実態に即したものとなるマニュアル策定に努めると共に、保護者や生徒・児童への周知を目指して取組みを進めていきたい。

問 避難所について。

答 地域の避難所となる学校に非常用物資、水、自家発電装置等の設置をどうするか先進地にも学びつつ、関係課とも協議し検討する。

問 防災、減災の強化について。

今、公明党は「防災・減災対策の強化」を推進しています。防災DVDを作成して地域の方々に見て戴き、その折に「災害時あんしんシート」を渡し、いざと言う時の準備を訴えている。緊急時にも役に立つ。本市も作成して全市民の方々にお渡しすべきと思うが。

答 取り入れる方向で考えたい。

一般質問

により、今後このような発生は防げるだろうが、この箇所について防災の観点からはどう様にみるのか。

答 盛土の処分については、できるだけ早く執行していただく様、地元と連携し協議したい。

吉村 書面の取り交わしがされていないという事なので、完了期限を明

に危険な箇所がある。平岡区の土砂の山についての市としての把握は、**答** 「農地形状変更」や「転用許可」も出され、平岡協議会と業者間で最終の高さ等は同意済み。

問 青空資材置場としての農転に対し、目的と異なっているなら、「現況復興」の指導をすべきでは。

問 台風シーズンを前に、土砂災害が心配されるが、市の「危険箇所」についての把握と対応について。

答 現在、各大字よりの危険箇所や過去の災害事例により、地域単位の防災マップを作成中である。

土砂災害について



吉村
優子

記し、文書でとりつけらるよつ求ぬる。

通学路の安全対策について



阿古和彥

答 水路の一部に転落防止柵がない

問 亀岡市で小学生の通学路に乗用車が突っ込み、10人が死傷する痛ましい事故をうけ、葛城市的通学路についての危険箇所の把握と対応は。

答 市としては対応済み。今、国からの要請で、警察をはじめ各方面の協力を得、調査予定である。

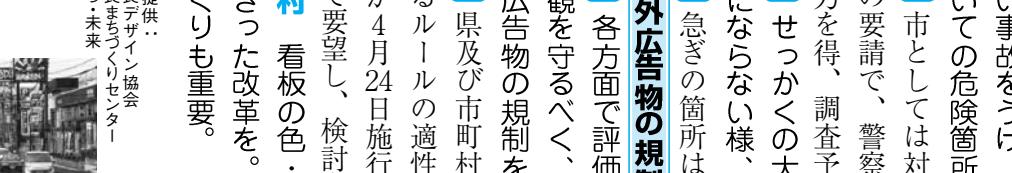
問 せつかくの大掛かりな調査が無駄にならない様、市の予算づけも。

答 急ぎの箇所は補正でも対応。

問 各方面で評価の高い山麓地域の景観を守るべく、山麓線における屋外広告物の規制をすべきでは。

答 県及び市町村で、屋外広告に関するルールの適性化検討会の運営要領が4月24日施行。新たな規制について要望し、検討を重ねていきたい。

吉村 看板の色・大きさ・高さ等思いきった改革を。経費をかけない街づくりも重要。



資料提供
奈良デザイン協会
奈良まちづくりセンター
なら未来

度の点からも危険性が高いと認識している。幼稚園の建て替え工事にあたり北側道路の拡幅、より見通しのよい交差点に改良できるよう、関係各課と協議・検討していく。

問 長尾・八川の境（馬場先）の通学路の水路は、近年の異常な降雨時はオーバーフローし、地元の皆さんにとっても危険性が高い箇所だが、安全の確保は。



▲新庄小学校附属幼稚園北西交差点

問 亀岡市で小学生の通学列に乗用車が突っ込み、10人が死傷する痛ましい事故をうけ、葛城市的通学路についての危険箇所の把握と対応は。

答 市としては対応済み。今、国からの要請で、警察をはじめ各方面の協力を得、調査予定である。

問 せつかくの大掛かりな調査が無駄にならない様、市の予算づけも。急ぎの箇所は補正ででも対応。

答 屋外広告物の規制について

問 中道諸鍵線に隣接する学校施設の通学路の安全確保については、平成17年6月議会の一般質問で触れましたが、今回予定している新庄小学校付属幼稚園の建て替えに伴い、幼稚園北西交差点の安全の確保は。

答 指摘の交差点については、道路が直交しておらず微妙に坂道になつており、南北に通行する車の量や速度の点からも危険性が高いと認識している。幼稚園の建て替え工事あたり北側道路の拡幅、より見通しのよい交差点に改良できるよう、関係各課と協議・検討していく。

問 長尾・八川の境（馬場先）の通学路の水路は、近年の異常な降雨時はオーバーフローし、地元の皆さんにとっても危険性が高い箇所だが、安全の確保は。

阿古 今回の一般質問で通学路の安全性について、交通安全と自然災害の二つの観点より質問を致しました。本年4月以降、登下校中の痛ましい事故が相次ぎ、文科省より「学校の通学路の安全確保について」の通達がありましたが、様々な観点より通学路の点検をお願いいたしました。

阿古 家庭用太陽光発電設置補助制度は、全国の50%の自治体が実施しており、今年度より天理市も、そして奈良県も実施を始めました。葛城市新エネルギー導入検討委員会の結論を出来るだけ早く出して頂きたい。

阿古 地球環境にやさしい葛城市を目指して パート8

地球環境にやさしい葛城市を目指してパート8



◆ 新庄小学校附属幼稚園北西交差点



◀ (降雨時)

ここが聞きたい



辻村 美智子

病後児保育について

問 病後児保育事業の実施について。また県内で病後児保育事業を実施されている市町村は。

答 葛城市では公立、私立保育所とも病後児保育を実施していない。県内では、奈良市、生駒市、香芝市、田原本町、大淀町が私立保育所に委託、橿原市は医療機関に委託し実施している。本市の保育サービスは、障がい児保育、長時間延長保育、一時預かり保育などを実施している。病後児保育実施には、常勤看護師1名、病後児3人に1人の保育士を配置、また医師会との連携が必要になるため事業実施は難しいが、近隣の動向や保護者の意見などを踏まえ慎重に検討していただきたい。

問 現在の保育士の状況と今後の雇用は。

答 保育士の配置確保が非常に困難。保育士は、全体で41名。うち16名が正規雇用職員で割合は約40%。今後は、県下各市の正規雇用職員割合の平均値50%を超えるようにした

い。また、統括主任を子育て福祉課に1名配置している。この機能を充実できるように、担任は正規職員になるよう計画的に雇用を増やす努力をしていきたい。

日々雇用保育士について。

答 アルバイトで日々雇用保育士は正規雇用職員の半分以上である。処遇については、何度も雇用形態を検討してきた。他のアルバイト職員にも影響を及ぼすので全体的なコントロールを考えている。今後も子育て支援などの環境づくり、働きがいのある職場にできるよう勘案しながら、適法に運営できるように努力したい。

辻村 保育サービスを充実させるには、まず保育所の運営であり特に保育士の待遇を安定させていたくのが一番必要。また、子育て支援を拡充していくことにより、保護者は心身ともにゆとりができる、子育ても仕事も家庭環境も充実すると思う。だからこそ、保育サービスを含む子育て支援を今一度拡充していくことを強く要望します。



白石 栄一

吸収源対策公園緑地事業について

問 本事業の目的及び国の補助事業採択の要件について。

答 地球温暖化対策を推進するため、温室効果ガス吸収源対策に資する公園緑地の整備等を推進すること。本市は「緑の基本計画」が策定済み等の採択要件に該当している。

問 緑の基本計画に基づき実施された国庫補助事業の実績・財源内訳は。

答 緑化重点地区整備事業として新村公園、薑公園等の4ヶ所、まちづくり交付金事業として笛堂ふれあい公園等の2ヶ所整備している。用地取得費等、国の補助金を除く事業費については、市の一般財源及び起債となっている。地元負担はない。

問 本事業では、用地費の3分の1

の寄附金を条件に設置場所が決めら

れている。大字足田の寄附金は1230万円、1世帯あたり9248円

もの多額な負担となる。寄附金の徴収は、地方財政法第4条の5（割当的寄附金等の禁止）の規定に反する。法の趣旨には抵触していない。

大字が感謝をもって寄附をしていた

だるものだと理解している。

問 税外負担の解消を目的とする地方財政法の規定からして、50年も60年も時代を引き戻すことだ。市長はこの予算を執行するのか。

答 しっかりと吟味しながら検討していきたい。

「新道の駅整備事業」の公正性・透明性について

問 ワーキング会議によって道の駅の場所が決定され、推進委員会や設立委員会の中で施設や運営方法等の策定をすることだが推進委員会とはどのような委員会か。

答 商工会がほとんど中心でされた委員会である。

問 ワーキング会議や各委員会に商工会の幹部や会員が多く入っている。ところが、計画の場所には、商工会が所有する2000m²超の塩漬けの土地がある。商工会は利害関係者ではないのか。

答 商工会が中心になつていただかなければ、この事業は円滑な運営ができないと考えている。

白石 強い利害関係がある。商工会政治連盟は、市長に出席を要請し、推薦もするという話である。6月28日の後援会の発足総会がどのようになるか、このことを述べておく。

会報

開会中の委員会報告

総務文教常任委員会 報告

5月15日 開催

新庄幼稚園園舎の建替えにかかる設計図基本プラン3案の提示あり。理事者より内容説明があり、次回委員会で意見集約を行うこととなつた。

5月24日 開催

前回の委員会で提示された設計図基本プラン3案について引き続き協議。周辺住民への説明や、現場の声を確認しているのかという意見があり、騒音や採光等配慮した上で、再度、委員会を開催し設計図を提示。

6月14日 開催

修正後の設計図2プランが提示。特に正門の場所、園舎の配置を検討する中で、教職員、周辺地域の方、保護者と協議すべきであるとの意見があつた。開発事前協議の期日もせまつており、できるだけ早い時期に本委員会を再度開催し、協議することとなつた。

都市産業常任委員会 報告

5月31日 開催

新道の駅建設事業の平成24年度

の事業計画について、「ソフト面では、新道の駅設立委員会が市民を対象に意向調査を行い、それをもとに、株式会社設立の基本事項の決定、出資募集をし、さらに出荷者と出店者の募集要項を作成する予定。ハーフ面では、地元地権者への説明会の後、測量や造成にかかる設計を行い、用地交渉を進めていく予定」と説明

があり、新道の駅がオープンする平成27年3月末までの全体的なスケジュール、株式会社設立後の運営組織の形態についても説明を受けた。

行政改革特別委員会 報告

6月14日 開催

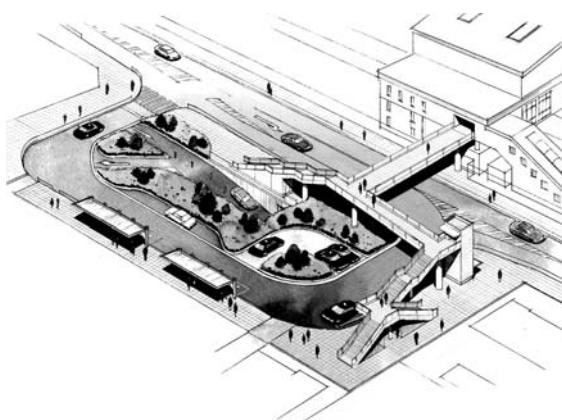
新市建設計画にかかる事業費について、事業総額が177億7,454万1,000円となり、また、その結果を反映させた財政計画についても報告を受けた。今回、ごみ処理施設整備事業などの一部事業費の変更と平成23年度分を現計予算額で、平成24年度分については当初予算額、平成25年度以降分については予算見込み額で再度積算を行った結果、前回の報告よりも22億4,613万7,000円増え、200億2,067万8,000円となるという

事業費の変更などに伴う今後の財政計画、主要財政指標の推移についても併せて報告を受けた。

尺土駅前広場整備事業特別委員会 報告

6月8日 開催

5月9日 開催



尺土駅前完成予想図

きないのか、という意見があつた。できるだけ通行等、支障のないようスマートに行く方向で交渉もしていきたいという説明があつた。

議会改革特別委員会 報告

5月9日 開催

御所市、五條市両議会の定数削減にいたる経緯ならびに条例制定等のタイムスケジュールについて、資料をもとに報告をされた。定数削減の時期については次回の一般選挙からと決定したが、具体的な議員定数については、常任委員会の人数等、あらゆる面から定数削減の条例改正に向けての準備をしていくべきという意見があつた。議員定数を決定するにあたり、具体的な事項について議論を重ね、検討していくこととなつた。

6月定例議会

(6月18日～28日)

総務文教常任委員会 報告

6月22日 開催

契約状況について、すでに用地買収契約済み区間の内、一部北側歩道と車道を車の対向ができるよう整備する計画をしているという説明があつた。東西の搬入口の工事が進捗していない状況で、利用者の便宜性、安全性を確保する手立てが必要であり、近鉄保有の土地の有効利用はで

付託された4議案及び、本委員会所管の調査案件について左記のとお

各委員会報告

**本委員会の所管事項の調査について
「當麻クリーンセンター解体に伴う
業務の処理について」**

當麻クリーンセンター解体に伴う

業務の処理経緯について、空き缶、

空き瓶、粗大ごみ、不燃ごみ等の処

理について平成24年5月1日から平

成25年3月31日まで市外の業者と委

託契約をおこない、処理業務を行つ

ているとの報告を受けた。

は、国庫負担金、4分の1は県負担
金となり、残り4分の1が市の負担
金となる。

討論なし。

**本委員会の所管事項の調査について
「地域活性化事業 新道の駅建設事
業について」**

前回開催以降、新道の駅設立委
員会として進展したことは特にな
く、今後、意向調査の内容等につい
て早急に協議を行つていく予定との
報告を受けた。

**新クリーンセンター建設事業
特別委員会 報告**

付託された1議案について左記のとお
り審査しました。

**議第36号「平成24年度葛城市一般
会計補正予算（第1号）の議決につ
いて」**

付託された1議案及び、本委員会
所管の調査案件について左記のとお
り審査しました。

**議第36号「平成24年度葛城市一般
会計補正予算（第1号）の議決につ
いて」**

付託された1議案について左記のとお
り審査しました。

**議第36号「平成24年度葛城市一般
会計補正予算（第1号）の議決につ
いて」**

付託された1議案について左記のとお
り審査しました。

**議第36号「平成24年度葛城市一般
会計補正予算（第1号）の議決につ
いて」**

付託された1議案について左記のとお
り審査しました。

**問 農業振興費の中の農村資源保全
地域協議会負担金について、この事
業は新規事業になるのか。事業全体**

としては、どれくらいの費用になる
のか。

**答 農地・水保全管理支払交付金事
業については、2期事業が確定した
のが平成24年3月末であったため、
今回、補正予算で計上。16地区10協
議会が取り組んでいく予定で、91**

部部分に炉本体を設置する予定。
討論なし。

**よつこむ
葛城市議会へ**

新庄庁舎5階の議会フロアを簡
單な見取り図で紹介します。



議員が市民の方と面談する部
屋です



本会議が開催されます



各委員会を開催します



正副議長の執務室



議員用の図書室です



傍聴席では議会の臨場感を肌
で感じていただけます



議会だより編集委員会等の会
議で使用します



正副議長等に外部から訪問が
あった際に使用します

①正副議長室

②応接室

議会各委員会研修報告

議会全員視察・各常任委員会 視察研修を開催しました

議会全員視察研修

このたび、議会全員研修を2泊3日の行程で長野県松本市及び愛知県大府市、愛西市の各先進地事業を視察研修致しました。また各常任委員会視察も2日に長野県松本市に滞在し各常任委員会別に各所管事業の視察を行いました。

全員研修の1日目は、本市新市建設計画に掲げる学校給食センター事業の視察として長野県松本市東部学園給食センターへ、3日目の最終日は、松本市を早朝出発し、愛知県大府市にある(株)げんきの郷が経営する「農産物直売所」と愛知県の愛西市にある道の駅「立田ふれあいの里」へそれぞれ視察研修を行いました。



長野県松本市 東部学校給食センター



愛知県大府市 (株)げんきの郷

松本市東部学校給食センターにおける視察研修では、学校給食事業の経過等について記録された映像を鑑賞後、同市の教育部学校給食課の職員から、視察場所である「東部学校給食センター」が平成21年8月から供用されていることによって市内小中学校へ効率的な配達が出来ていると事業概要の説明がありました。参加した議員からは地産地消の食材の取り組みや、アレルギー食の対応、給食配食数の推移等、先進地における事業の推進に対し活発な質疑を取り交わし、本事業を今後推進するあたり大いに参考となる研修となりました。

は、年間来場者数が200万人を超えるなど、農作物の出荷から価格設定、品質管理等徹底した管理体制を確立している実情や、愛西市の「立田ふれあいの里」農作物直売所では、地域産業の活性化に基づく拠点施設として地元生産農作物を提供し、国、県の補助事業として「道の駅」を併設した施設であり、それぞれの地域特性や農作物提供者の育成等に貢献しながら経営努力されることが窺えました。本事業においてもこれから事業推進に大いに役立ててまいります。

総務文教常任委員会視察研修



長野県諏訪市役所

民生水道常任委員会視察研修

は、年間来場者数が200万人を超えるなど、農作物の出荷から価格設定、品質管理等徹底した管理体制を確立している実情や、愛西市の「立田ふれあいの里」農作物直売所では、地域産業の活性化に基づく拠点施設として地元生産農作物を提供し、国、県の補助事業として「道の駅」を併設した施設であり、それぞれの地域特性や農作物提供者の育成等に貢献しながら経営努力されることが窺えました。本事業においてもこれから事業推進に大いに役立ててまいります。

一方の愛知県大府市及び愛西市における「道の駅」事業視察研修では、(株)げんきの郷が経営する大型複合施設の農作物直売所並びに加工施設で

このたびの議会全員研修における第二日目を本常任委員会視察研修として長野県千曲市並びに諏訪市へ訪問してまいりました。千曲市では「歴史資料館の運営状況」について、同市の古代遺跡の発掘成果によって繩文時代の生活が体験学習できる施設を視察し、本市の歴史博物館運営に今後取り組んでいく施策と情報交換の語らいとなりました。

一方、午後から訪問しました長野県諏訪市においては、防災対策の観点から「諏訪市防災メールサービス事業」「自主防災組織防災資機材整備補助金事業」について諏訪市役所で研修致しました。諏訪市企画部危機管理室の担当職員から同市が近年水害等による多くの被害を出した経

験から、災害時の情報提供や早期避難判断に役立てる目的に「防災メール」事業を推進し、併せて自主防災組織からの要望である各種防災資機材の補助金事業について導入の経過等の説明を受けました。防災意識の高揚と安全・安心な生活を守ることを最優先事項として取り組んでいる各事業について、本市のこれから防災対策の強化について学び、本委員会は研修成果を活かし、取り組んでまいります。

推進されており、本市の環境対策等に反映できるように議論してまいります。一方、午後から訪問した長野県上田市においては、「太陽光・太陽熱」を利用した地域新エネルギービジョンの導入状況や同市が提唱する「うえだ環境市民会議」の活動状況について研修いたしました。新エネルギー・ビジョンでは、深刻な地球温暖化問題に対して短期・中長期的な施策や家庭でもできる省エネライフ等、市民一人ひとりが心がけることの重要性を推進し、太陽光発電システムの補助金制度の確立や市民共同設置型太陽光パネル制度など様々な方法で自然エネルギーの活用を市民と行政が一体となって取り組んでいることを学びました。環境問題等の文化的価値と観光資源を地域の産業振興に結びつけ、馬籠宿を年間40万人が訪れる観光地に発展させた



長野県小諸市役所



長野県上田市役所

このたび環境市民会議の取り組み等について馬籠観光協会会长をはじめ、関係者の方々に説明していただきました。景観整備の取り組みについては、宿場町としての町並み保存と郷土を外部資本から守るために、地域住民が独自に「住民憲章」を策定し、観光による恩恵を受ける人も受けない人も協力し合い、景観保持整備を行ってきたことや、現在も「美しい自然景観は、新しい観光資源であり、自分たちの子孫に引き継いでいかなければならない」という考え方の上で、住民が協力し、古来から日本にある草木を使った緑化環境整備を行い、まちの美しさを作りあげておられることが、街道を伺い、街道の文化的価値と観光資源を地域の産業振興に結びつけ、馬籠宿を年間40万人が訪れる観光地に発展させた

このたびの議会全員研修における第二日目を本常任委員会視察研修として岐阜県中津川市へ訪問してまいりました。中津川市では、「馬籠街道等の歴史的環境を活かしたまちづくり」や「観光客誘致の取り組み」等について馬籠観光協会会长をはじめ、関係者の方々に説明していただきました。景観整備の取り組みについては、宿場町としての町並み保存と郷土を外部資本から守るために、地域住民が独自に「住民憲章」を策定し、観光による恩恵を受ける人も受けない人も協力し合い、景観保持整備を行ってきたことや、現在も「美しい自然景観は、新しい観光資源であり、自分たちの子孫に引き継いでいかなければならない」という考え方の上で、住民が協力し、古来から日本にある草木を使った緑化環境整備を行い、まちの美しさを作りあげておられることが、街道を伺い、街道の文化的価値と観光資源を地域の産業振興に結びつけ、馬籠宿を年間40万人が訪れる観光地に発展させた

このたびの議会全員研修における第二日目を本常任委員会視察研修として岐阜県中津川市へ訪問してまいりました。中津川市では、「馬籠街道等の歴史的環境を活かしたまちづくり」や「観光客誘致の取り組み」等について馬籠観光協会会长をはじめ、関係者の方々に説明していただきました。景観整備の取り組みについては、宿場町としての町並み保存と郷土を外部資本から守るために、地域住民が独自に「住民憲章」を策定し、観光による恩恵を受ける人も受けない人も協力し合い、景観保持整備を行ってきたことや、現在も「美しい自然景観は、新しい観光資源であり、自分たちの子孫に引き継いでいかなければならない」という考え方の上で、住民が協力し、古来から日本にある草木を使った緑化環境整備を行い、まちの美しさを作りあげておられることが、街道を伺い、街道の文化的価値と観光資源を地域の産業振興に結びつけ、馬籠宿を年間40万人が訪れる観光地に発展させた



馬籠観光協会

このたび全国市議会議長会より2永年勤続表彰として十年にわたり行政発展に寄与された功績から川西茂一議員へ表彰状が西川弥三郎議長から6月議会冒頭に手渡されました。また続いて全国市議会議長会理事と

まで務められました現議長として本年4月まで務められた現議長功労を称え、西川弥三郎議員にはその功労を称え、西井副議長より手渡されました。お二人の議員には、今後ともお体にご留意され、ますますのご活躍をご期待申し上げます。



西川弥三郎議員



川西茂一議員

オリンピックへの熱い応援も終わり、日本の威信と期待にこたえ、感動を与えてくれた選手の活躍に感謝したいものです。

さて、今月末に告示される葛城市長選挙、すでに出馬を表明されている方は、準備に追われています。葛城市的将来の舵取りを誰に託すのか?

市民皆さんの関心も高まっていることでしょう。

今、有権者（主権者）に問われているのは、「観客型」ではなく「参加型」の姿勢ではないでしょうか。市の重要な課題や政策に関心を持ち、選挙活動期間中に候補者が提唱するビジョン、提案する政策を理解して、将来の葛城市の在り方や今の課題をどう解決していくのか。有権者（主権者）の責任が求められています。市民参加型の市長選挙になるようになります。

編集後記

議会だより編集委員会

委員長 溝口 幸夫
副委員長 朝岡佐一郎
委員 辻村美智子
中川佳三
吉村吉古
阿古和彦
白石栄一
和彦優子

このたびの議会全員研修における第二日目を本常任委員会視察研修として岐阜県中津川市へ訪問してまいりました。中津川市では、「馬籠街道等の歴史的環境を活かしたまちづくり」や「観光客誘致の取り組み」等について馬籠観光協会会长をはじめ、関係者の方々に説明していただきました。景観整備の取り組みについては、宿場町としての町並み保存と郷土を外部資本から守るために、地域住民が独自に「住民憲章」を策定し、観光による恩恵を受ける人も受けない人も協力し合い、景観保持整備を行ってきたことや、現在も「美しい自然景観は、新しい観光資源であり、自分たちの子孫に引き継いでいかなければならない」という考え方の上で、住民が協力し、古来から日本にある草木を使った緑化環境整備を行い、まちの美しさを作りあげておられることが、街道を伺い、街道の文化的価値と観光資源を地域の産業振興に結びつけ、馬籠宿を年間40万人が訪れる観光地に発展させた